第３回南砺市協働のまちづくり推進会議次第

平成 29 年 1 月 13 日（金）午後 7 時～
南砺市役所　福野庁舎２階講堂

１．開　会

２．委員長あいさつ

３．市長への提言

（１）提言書の提出（委員長から市長へ）
（２）提言書の説明（委員長）
（３）意見交換

４．市長あいさつ

５．その他

６．閉　会

●平成２８年度　南砺市協働のまちづくり推進会議の経緯

	経　　過	備　　考
H28.9.28	第１回運営委員会開催	提言に対する市の回答説明（市→委員）
H28.10.3	第２回運営委員会開催	提言に対する市の回答について委員の意見交換
H28.10.26	第３回運営委員会開催	・提言に対する市の回答への意見集約 ・今後の方向の検討
H28.10.31	第１回協働のまちづくり推進会議開催	・提言に対する市の回答への委員意見の取りまとめ結果を公表 ・意見収集
H28.11.14	第４回運営委員会開催	・市への（新）提言内容を協議 ・今後の方向性を協議
H28.11.20	第５回運営委員会開催	〃
H28.12.5	第２回協働のまちづくり推進会議開催	市への（新）提言内容について協議
H28.12.22	第６回運営委員会開催	市への（新）提言内容について修正
H29.1.13	**第３回協働のまちづくり推進会議開催**	**提言書提出、各委員と市長との意見交換**

平成２９年1月１３日

南砺市長　田中　幹夫　殿

南砺市協働のまちづくり推進会議

委員長　　林　　則　雄

提　言　書

平成２４年７月に施行された南砺市まちづくり基本条例は、わたしたちが、このまちに「生まれてきてよかった」、「住んでいてよかった」、「これからも住み続けたい」と思えるまちになることを願い、市民が主体のまちづくりが進められるよう定められたものである。

条例施行より４年６カ月が経過し、当推進会議では、条例の運用や推進状況を確認し検討してきた。また、昨年１月には、当推進会議が提出した提言書に対して市より回答を受け、その内容について協議してきた。その結果、市民や行政においてまだまだ協働に対する意識に差があり、全体的に底上げが必要であることが感じられた。

また、市民や地域、各種団体等、それぞれが課題を見つけ解決方法を考える仕組みをつくり、一緒に行動できる関係をつくるのがこれからのまちづくりであると考え、今回推進会議として提言する。

市長におかれましては、本提言を踏まえ、協働のまちづくりの更なる推進に努められたい。

■提言

１．協働のまちづくりの推進について

今後、さらなる少子高齢化の時代を迎え、人口減少問題へ対応しながら持続可能なまちづくりを推進するには、地域資源や人材を活用して地域の力を高める必要があり、そのためには、地域の課題や将来を市民自らが考え行動していく市民総参加（総働）が必要である。

そこで、協働のまちづくりをより一層推進するため、課題解決型の地域組織の運営のあり方（小規模多機能自治）や手法を市民レベルで検討する場を設置するよう求めたい。

２．まちづくりの意識を浸透させるための勉強会の開催について

まちづくりに興味のある市民や、市の育成した人材をまちづくりに参画させること、若者や女性などの意見を活かすための地域組織の改革、そして市民意識の向上がより求められている。

平成２９年度において、多くの市民を対象にまちづくりの意識を浸透させるとともに、市や南砺市自治振興会連合会、各種団体等と連携し、一緒に行動できる関係づくりを構築するため、先進地の取り組み等を学び、地元が地域のまちづくりを検討するための勉強会を設けることを求めたい。

３．周知・広報について

市民がまちづくりの主体であるという意識と行動のレベルはいまだ高くない状況である。よって、協働のまちづくりに関する理念や情報を、継続的に市民に問いかける場として、推進会議に広報部会を設置し、市の広報に「まちづくり推進会議」のコーナーをつくり、推進会議で話し合われている内容等を伝えることを求めたい。